

1 単元について

対象学年	小学校 第1学年
学習指導要領	第1学年及び第2学年の内容 A「話すこと・聞くこと」ア、イ 言語事項（1）ア（ア）
単元名	わたしのたからもの（全5時間）
単元目標	<p>自分の宝物を進んで考え、みんなに分かりやすく話そうとしたり、友だちの話を顔を見て、楽しんで聞こうとしたりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">（国語への関心・意欲・態度）</p> <p>大事なものの中から知らせたい宝物の一つ選んで、クラスの友だちに順序よく話すとともに、友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたり、それに答えたりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">（話す・聞く能力）</p> <p>姿勢・口形などに気を付けて、はっきりした発音で、説明するように話すことができる。</p> <p style="text-align: right;">（言語についての知識・理解・技能）</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の宝物を、自分の生活や個性に即して決定できるような観点を示したプリントを作成し、その観点から宝物を思い出させる。そしてその中から、みんなに知らせたいものを選ぶことができるようにする。また、その学習プリントを教師が見て、一人一人にアドバイスを入れる。</li> <li>・ペアや班で話し方・聞き方を練習し、アドバイスを相互に行う場をもつことで、自分の話し方・聞き方のめあてをもたせ、一人一人がよりよい話し方・聞き方を目指せるようにする。</li> </ul> <p>一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方の練習で、観点到った評価を相互に行うことを通して、うまく話せるようになったことを意識しながら、さらに練習に励めるようにする。</li> <li>・「宝物発表会」では、観点到った自己評価表で自分の話し方を振り返らせたり、友だちの話のよさを中心に聞かせたりすることで、多くの友だちから認められる喜びや、練習の成果を出しきった満足感・わかりやすく話せてうれしかったという思いを味わうことができるようにする。また終末では、特に児童の気付いていないがんばりや話し方・聞き方のよさを教師が価値付け、学習意欲につなげる。</li> </ul> <p>【言語活動】自分の宝物について話し、尋ねたり応答したりすること。</p> <p>【言語意識】</p> <p>（相手）クラスの仲間 （目的）自分の今まで大切にしてきたものやお気に入りの宝物を知ってもらうため （場面・状況）教室で、話したり聞いたりする学習発表会で （方法）宝物を持って、話型を利用した方法で （評価）順序よく話すとともに、友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを尋ねたり、それに答えたりすることができたかで評価する。</p>
参考資料	<p>資料1 学習プリント1 「わたしの宝物」への意欲付けと題材決め 学習プリント2 よい話し方や聞き方を考える 学習プリント3 順序よく話すためのメモ 学習プリント4 話し方と聞き方練習 学習プリント5・6 発表会の相互評価・自己評価</p> <p>資料2 「たからもの発表会」での発表例紹介</p>

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心 ・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解 ・技能
内容のまとめ りごとの 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に応じ、経験したことなどについて、意欲的に分かりやすく話そうとしている。</li> <li>話す人を大切にして、興味をもって楽しく聞こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知らせたいことを選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話している。</li> <li>大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞いている。</li> <li>身近な事柄について、話題に沿って、話し合おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、口形などに注意して、はっきりした発音で話している。</li> <li>文の中における主語と述語の関係に注意している。</li> <li>丁寧な言葉と普通言葉との違いに気を付けて話している。</li> </ul>
単元 の 評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の宝物を進んで考え、クラスみんなに分かりやすく話そうとしている。</li> <li>友だちの話を、顔を見て一生懸命聞き、質問したり答えたりすることを楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大事な物の中から、知らせたい宝物の一つを選んで、＜◇宝物の名前 ◇宝物のくわしい説明 ◇質問依頼＞の順で、話している。</li> <li>友だちの宝物についての話を最後まで静かに考えながら聞いて、分からないことを尋ねたりそれに答えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で、説明するように話している。</li> </ul>
単位 時間 にお ける 具体 の 評価 規準	<p>観点に沿って宝物を進んで考え、一生懸命伝えようとしている。</p> <p>発表会での友だちの話を顔を見て一生懸命聞き、質問したり答えたりすることを楽しんでいる。</p>	<p>大事な物から、友だちに知らせたい宝物を選び、一つに決めている。</p> <p>宝物について観点＜いつから・だれから・特に気に入るところ・宝物のわけ・扱い方＞から説明したいことを2、3個考え、＜◇宝物の名前 ◇宝物のくわしい説明 ◇質問依頼＞の順で話すためのメモを取っている。</p> <p>宝物について＜◇宝物の名前 ◇宝物のくわしい説明 ◇質問依頼＞の順で、4～5文程度で分かりやすく話している。</p> <p>友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたりそれに答えたりしている。</p>	<p>姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で説明するように話している。</p>

3 指導と評価の計画 < 全 6 時間 >

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助				
1	<p>大事なものの中から、みんなに知らせたい宝物を選び、友だちに伝えようとする意欲をもつことができる。</p>	<p>プリントの「犬のボチ・ドラえもん・おじいさん・お母さん」の宝物の絵の説明を教師から聞き、宝物発表会への意欲をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>だいいじなものなから、ともだちに知らせたいものを、一つきめよう。</p> </div> <p>プリントの観点にそって、大事なものを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいがったりたいせつにしたりしているもの</li> <li>・うっとりするものやきれいなもの</li> <li>・じぶんが、がんばってつくったもの</li> <li>・だいすきな本</li> <li>・おもいでのおやしやしん</li> <li>・その他か</li> </ul> <p>宝物として伝えたいものに、 を付けて、教師にアドバイスをもらう。決定した観点別に、自分の名札を貼る。次時の予告(発表会のビデオを見ること)を聞き、意欲をもつ。</p>	<p>&lt;ア - &gt; 観点に沿って宝物を進んで考え、一生懸命伝えようとしている。</p> <p>&lt;イー - &gt; 大事な物から、友だちに知らせたい宝物を選び、一つに決めている。</p>	<p>観察 教師からの課題提示に対し、興味をもって話を聞き、プリントに書くかしているか見る。</p> <p>プリント1 2個以上の大事な物を思い出し、そこから選ぶことができるか見届ける。</p>	<p>掲示資料を工夫し、楽しい雰囲気を作って、意欲につなげる。 大事な物を思い出しやすいように、観点を示したプリントを用意する。 考えつかない児童には、教師が質問を重ねて、宝物を導き出す。 同じ宝物ばかりにならないよう、アドバイスする。 知らせたい宝物が決められたことを認め、次時の予告をすることで、意欲につなげる。</p>				
2	<p>ビデオを見て、どんな発表や聞き方がよいか考え、話し方と聞き方のポイントをつかみ、順序よく話すためのメモを取ることができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんなはなしかたやききかたがよいか、ビデオをみてはっけんし、はなすじゅんびをしよう。</p> </div> <p>ビデオを見て、発見したよい話し方や聞き方をプリントにメモする。 一人2個以上発見することを、目標に聞く。 発見したことを交流し、整理された板書を通してポイントをつかむ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">はなしかた</td> <td style="padding: 2px;">ききかた</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しせいよく</li> <li>・はきはき</li> <li>・大きなこえ</li> <li>・説明するように</li> <li>・じゅんじょよく</li> </ul> </td> <td style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て</li> <li>さいごまでしずかに</li> <li>・しつもんがいえ</li> <li>る</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>話型に沿って、各自話したいことを考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>私の宝物は～です。 詳しい説明 ・いつから、だれから？ ・なぜたからものか？ ・とくにきにいつてるのは？ ・どんなふう、あつかってるか？ 等 質問はありませんか。 教師に見せて、アドバイスをもらう。</p> </div>	はなしかた	ききかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しせいよく</li> <li>・はきはき</li> <li>・大きなこえ</li> <li>・説明するように</li> <li>・じゅんじょよく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て</li> <li>さいごまでしずかに</li> <li>・しつもんがいえ</li> <li>る</li> </ul>	<p>&lt;イー - &gt; 宝物について観点&lt;いつから・だれから・特に気に入るところ・宝物のわけ・扱い方&gt;から説明したいことを2、3個考え、&lt;◇宝物の名前◇宝物のくわしい説明◇質問依頼&gt;の順で順序よく話すためのメモを取っている。</p>	<p>プリント3 宝物について、説明したいことを考え、メモを取れているか評価する。</p>	<p>2年生で話すことが得意な子どもたちに頼んで、見本のビデオを作っておく。 ポイントを発見している児童のプリントに をうつ。  児童の発見を整理しながら板書し、目指す姿を具体的につかませる。  プリントへの書き方が分かりやすいように、プリントを拡大し、教師が書き込みながら説明する。 何を説明してよいか分からない児童には、「なぜ宝物なのか」など一対一で聞き出す。</p>
はなしかた	ききかた								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・しせいよく</li> <li>・はきはき</li> <li>・大きなこえ</li> <li>・説明するように</li> <li>・じゅんじょよく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を見て</li> <li>さいごまでしずかに</li> <li>・しつもんがいえ</li> <li>る</li> </ul>								
3	<p>ペアや班で</p>	<p>もう一度ビデオを見て、目指す話し方・</p>	<p>&lt;オー - &gt;</p>	<p>観察</p>	<p>ビデオを見せるこ</p>				

	<p>練習をして、姿勢よく・はきはき・説明するように・順序よく話せる話し方名人を目指すことができる。顔を見て・最後まで静かに・質問が言える聞き方名人を目指すことができる。</p>	<p>聞き方を復習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はんでアドバイスしあい、はなしかた・ききかた名人をめざそう。</p> </div> <p>ポイントを意識して、個人でペアで話す。班ごとに練習し、話し方を相互評価・聞き方を自己評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「しせいは、どうですか。」  「はきはき大きな声でしたか。」  「説明するように話せましたか。」  「順序よく話せましたか。」  「アドバイスをしましょう。」  「質問はありませんか。」</p> </div> <p>特に上手に話せた子が、初めの方だけ、みんなの前で話す。 一人一人がめあてをもって、一斉に話す。</p>	<p>姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で説明するように話している。</p>	<p>姿勢・はっきりした発音で話すように話しているか評価する。</p>	<p>とで、話し方や聞き方の具体的なよいイメージを再確認させる。</p> <p>班長に、練習の仕方を指導する。</p> <p>うまくなった子や頑張っている子を認める。 憧れをもった話し方に迫れるよう、個々が具体的なめあてをもつよう指導する。</p>
<p>4 ・ 5 本 時</p>	<p>クラスの仲間に、宝物を示して順序よく4～5文程度の説明をするとともに、発表会での友だちの話を顔を見て一生懸命聞き、楽しんで質問したり答えたりすることができる。</p>	<p>前時の練習（発表）で、うれしかったことやよかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すらすら話せるようになった。</li> <li>・前よりはきはき話せるようになった。</li> <li>・友だちが応援してくれた。 など</li> </ul> <p>どんな発表会にしたいか、願いを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・はなしかた・ききかた名人をめざそう。  4つのポイントをたいせつにしつもんやかんそうがいえる  あたたかいききかた</p> </div> <p>立って、一斉に発表練習をする。 一人ずつ発表し、質問を受ける。 友だちの発表を、プリントによって相互評価する。</p> <p>まとめとして、特にまねしたい話し方ができたと思う、仲間の名前を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さんははきはき言えて、まねしたいなあと思いました。</li> <li>・さんは、説明するように言えて、聞きやすかったです。 など</li> </ul> <p>自分の話し方や聞き方を、振り返る。</p> <p>教師の評価を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が気付いていないよさ</li> <li>練習によって、話し方がうまくなった姿</li> <li>話す内容が、分かりやすくなった姿</li> <li>聞き方がうまい姿 など</li> </ul>	<p>&lt;アー&gt; 発表会での友だちの話を顔を見て一生懸命聞き、質問したり答えたりすることを楽しんでいる。</p> <p>&lt;イー&gt; 宝物について&lt;◇宝物の名前◇宝物のくわしい説明◇質問依頼&gt;の順で、4～5文程度で分かりやすく話している。</p> <p>&lt;イー&gt; 友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたり、それに答えたりしている。</p> <p>&lt;オー&gt; 姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で説明するように話している。</p>	<p>観察 宝物について、クラスのみんなに順序よく分かりやすく話せているか評価する。</p> <p>観察 友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたり、それに答えたりしているか評価する。</p>	<p>話し方や聞き方で、目指したい姿を再確認する。</p> <p>大勢の児童が参加意識をもてるよう、聞き方のよい児童を認めるとともに、多くの質問や感想の挙手を呼びかける。 途中で詰まった児童には、教師がインタビューし、聞き出す。 ポイントをおさえた話し方を教師が価値付け、まねをさせる。</p> <p>次の話す学習につながるよう、練習の成果が出た子や内容がよくなった子など、大勢の子のがんばりを認める。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・クラスの仲間に、宝物を示して順序よく4～5文程度の説明をするとともに、発表会での友だちの話を顔を見て一生懸命聞き、楽しんで質問したり答えたりすることができる。

(2) 本時の位置

4・5 / 5時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	<p>前時の発表会で、よかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが、感想や質問が言える温かい聞き方をがんばった。</li> <li>・ さんの話し方が、はきはき聞きやすかった。 など</li> </ul> <p>発表会のめあてを、確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>はなしかた・ききかた名人をめざそう。 4つのポイントをたいせつに。 しつものきょしゅが3かいいいじょうで きるあたたかいききかた。</p> </div>	<p>学級全体</p> <p>学級全体</p>	<p>&lt;アー &gt; (観察) 発表会での友だちの話を、顔を見て一生懸命聞き、伝え合いを楽しもうとしている。</p> <p>&lt;イー &gt; (観察) 宝物について</p>	<p>話し方や聞き方で、目指したい姿を再確認する。(前時にうまかった児童に話させるなど。)</p> <p>話し方のポイントを分かりやすくおさえる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>話し方 姿勢よく はきはき 説明するように 順序よく</p> </div>
展開	<p>立って、一斉に練習する。 班ごとに前で発表し、質問を受け、答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それは、いつから始めたのですか。</li> <li>・それは、だれからもらったのですか。</li> <li>・特に、気に入っているのはどこですか。</li> <li>・どこで、見つけましたか。</li> </ul> <p>班発表ごとに、プリントによって以下の項目について、相互評価する。(かなり素晴らしい場合は、できている場合はで書く。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢よく</li> <li>順序よく</li> <li>はきはき</li> <li>説明するように</li> </ul>	<p>個人</p> <p>学級全体</p> <p>個人</p>	<p>&lt;◇宝物の名前◇宝物のくわしい説明◇質問依頼&gt;の順で、4～5文程度で分かりやすく話している。</p> <p>&lt;イー &gt; 友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたり、それに答えたりしている。</p>	<p>背面黒板に、話型を板書しておく。(プリント三参照)</p> <p>聞き方のよい児童を、初めの方で認める。</p> <p>大勢の児童が参加意識をもてるよう、質問や感想の挙手を呼びかける。</p> <p>特にポイントをおさえた話し方ができた児童がいたら、班発表の後で気付かせ、真似させる。</p> <p>途中で詰まった児童には、教師がインタビューし、聞き出す。 「だれからもらったの」 「どこが気に入ってるの」 「どうして、宝物なの」など</p>
終末	<p>特に分かりやすい発表ができたと思う人を、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さんは、はきはき言えていいなあと思いました。</li> <li>・ さんは、説明するようがうまかったです。</li> </ul> <p>自分の話し方・聞き方をふり返る。 先生の評価を聞く。 児童が気付いていないよさ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し方がうまくなった姿 話す内容が、分かりやすくなった姿 聞き方がうまい姿 など</p> </div>	<p>学級全体</p> <p>個人</p> <p>学級全体</p>	<p>&lt;オー &gt; 姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で説明するように話している。</p>	<p>次の話す学習につながるよう、練習の成果が出た児童や、気付いていない児童のよさや頑張りをも認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はきはき話せるようになった姿</li> <li>・うなずきながら聞いて、挙手をたくさんした姿</li> <li>・よく練習をした姿 など</li> </ul>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<p>&lt; イー &gt;          宝物について&lt;①宝物の名前 ②宝物のくわしい説明 ③質問依頼&gt;の順で、4～5文程度で分かりやすく話している。</p> <p>&lt; イー &gt;          友だちの話を考えながら聞いて、分からないことを聞いたりそれに答えたりしている。</p> <p>&lt; オー &gt;          姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で説明するように話している。</p>
--

(2) 個に応じた指導の実際

児童の状況	個に応じた指導
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話型(「宝物は～です。」宝物の簡単な説明「質問をお願いします。」)に沿って順序よく話せたら、「おおむね満足できる状況」にあると判断した。</li> <li>・上の話型にそえず、順序よく話せない姿を「努力を要すると判断した状況」にあると判断した。この要因としては、頭の中で話すことを順序よく整理できないことや話すことへの自信のなさからの混乱などが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三時間目の班練習が済んだ班から一人一人の順序が明確な説明と、はっきりした発音を教師が聞き、個別にアドバイスを与えた。宝物の説明が一文で終わってしまう児童には、教師の質問によって説明を増やすよう指導した。例えば、「ぼくの宝物は、このカブトムシです。おじいちゃんを作ってくれました。質問はありませんか。」と言った児童には、「どうやって、作ってくれたの?」「どんなふうに、大切にしているの?」と投げかけた。すると、「あのね、おじいちゃんが、友達の仕事へ行って、機械を借りて削ってくれたの。」「こうやって、ほっぺに当てて大事にしてるよ。」という言葉を出せた。そして、それらを入れて次のように、話を膨らませた。「ぼくの宝物は、このカブトムシです。おじいちゃんが、友だちの工場に機械を借りて、削ってくれました。こんなふうに(ほっぺたに木製のカブトムシを当てながら)がわいっています。質問はありませんか。」なお、この指導は、個や班を抽出して個別に指導した。</li> <li>・宝物発表会で、説明が順序よくできない児童には、教師がインタビューする形で援助した。また、後ろの黒板には、話型(プリント3参照)を板書しておいた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの話姿勢よく真剣に聞き、質問や感想の挙手ができれば、「おおむね満足できる状況」にあると判断した。</li> <li>・友だちの話を手なぶりをしたり私語をしたりして、しっかり聞こうとしない姿や、聞いてはいてもあまり手を挙げようとしなない姿を「努力を要すると判断した状況」にあると判断した。この要因としては、人の話をしっかり聞こうとしない自己中心的な姿勢や、自分の世界に入り込んで、聞くことへの抵抗が大きいためとが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くことが難しい児童を励ますために、4・5時間目のプリントに挙手回数の記録をとらせ、進んで手を挙げることを目指させた。また発表会で集中して聞けず、手が挙がらない児童もいたので、途中で励ましの声をかけた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢・口形に気を付けて、はっきりした発音で聞きやすければ「おおむね満足できる状況」にあると判断した。</li> <li>・姿勢が悪く、ぼそぼそ話してしまい聞き取りにくい場合を「努力を要すると判断した状況」にあると判断した。この要因としては、口の開け方が不十分であることへの自覚がないため、自覚があっても直す方法が分からないため、あるいは人前で話す事への抵抗が大きいためと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三時間目の班練習が済んだ班から一人一人の順序よい説明とともに、はっきりした発音を教師が聞き、個別にアドバイスを与えた。口形が意識しにくい児童には、一字ずつ切って発音する練習や、鏡を見ながら口をよく動かして話す練習をするよう指導した。その結果、ずいぶんはっきりした発音で話せるようになったり、説明を詳しくできたりした。なお、この指導は、個や班を抽出して指導した。</li> <li>・発表会で話すときに、みんなの方を見ていられない児童を想定し、後ろの黒板に目の絵を描いて貼っておいた。これによって、ほとんどの児童の視線が定まった。しかし、発表会で下を向いてしまう児童には、教師が教室の後ろに立ち、話し始めたらすぐに、教師を見て姿勢よく話すよう励ました。</li> <li>・聞き取りにくい発音の児童には、周囲から「もう少し大きな声で、お願いします。」という声を掛けさせたり教師から1回だけやり直すチャンスを取らせたりした。しかし、聞き取りにくい発音の児童ほど、耳を澄ませて聞くという温かい学習集団づくりを、4月から目指した。</li> </ul>

## 「たからもの発表会」での発表例紹介

<p>発表者 A</p>	<p>私の宝物は、ディズニールンドのホテルでとった写真です。 そのホテルにはクリスマスツリーがざってありました。そのクリスマスツリーには飾りや灯りがついていたので、いいなあと思いました。 質問はありませんか。</p>
<p>△ 質問者 1 イ 発表者 A 夕 質問者 1 問 質問者 2 質 発表者 A 質 質問者 2</p>	<p>どこのホテルですか。 名前は忘れしました。すぐ近くにありました。 分かりました。 ディズニールンドは、どこがおもしろかったですか。 ミニーやミッキーと会えたことです。 分かりました。</p>
<p>発表者 B</p>	<p>ぼくのたからものは、小さい頃のぼくの写真です。 ぼくにそっくりだし、小さくてかわいいからです。この写真を見ると、涙が出てきそうです。これです。 うわあ。かわいい。口々にかんせいが上がる。 質問はありませんか。</p>
<p>△ 質問者 3 イ 発表者 B 夕 質問者 3 問 質問者 4 質 発表者 B 質 質問者 4</p>	<p>それは、何才の時の写真ですか。 一才ぐらいです。 分かりました。 どんな服を着ていますか。 恐竜の服です。 分かりました。</p>
<p>教師</p>	<p>三人の中で、特に話すようにがうまかった人がいましたが、気がつきましたか。そうです、Aさんです。「いいなあと思いました。」のところがよかったね。もう一度そこ言ってみてくれる。Aがいつみんなも、言ってみて。そう。説明するようだったね。</p>